

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リンリン		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 5 月 20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童一人ひとりにあわせた療育が行えるように職員配置をしている。	・職員全体で一人ひとりの特性を確認しながら、療育の偏りがないように工夫しこどもの興味関心に合わせた活動を提供できるようにしている。	・引き続き、特性理解や活動プログラムの工夫をし、職員の質が上がるような研修参加もしていく。 ・職員の負担がないように担当制ではなくチーム支援ができるようにする。
2	・利用児童が通所を楽しみにしてくれている。	・保育園の活動後の登園になり疲れもあるはずだがこども達が楽しみに来所してくれている。 ・活動プログラムもこども達が笑顔で楽しめるような工夫をしている。	・一人ひとりの様子をみながら無理なく活動に参加できるようにする。 ・安心した環境の中で楽しく活動に参加できるように環境づくりを行う。
3	・職員間で情報共有や振り返りを行い、チーム支援を意識している。	・その日の児童の様子の共有・振り返りを行い次の支援につなげるようにしている。 ・マイナスな部分だけではなくできたこと新しい発見も伝えられるようにしている。	・引き続き、共有したことを次の療育に生かしている。 ・振り返りミーティングでは職員一人ひとりの考えを大切に、こども達の支援がよりよくなるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士やきょうだい児同士の交流機会が少ない。	・保護者同士の交流の機会の場について設けられずにいる。開催時期や内容検討でつまづいている。	・保護者アンケートから交流の場の必要性を感じているので親子レクなどを企画して交流の場を作るようにする。
2	家族支援（ペアレントトレーニング等）の実施・充実が課題	・送迎やモニタリングにて保護者の悩み事を聞いたりしているが助言に戸惑うこともある。 ・保護者向けの研修の情報収集ができていない。	・引き続き、送迎の際や困ったときの相談は随時行っていく。 ・SNSや他事業所からの情報をもらいながら保護者向けの講演会なども発信できるようにする。 ・今後ペアレントトレーニング実施予定。
3	日常活動の様子についてより定期的な発信が必要 (どんな活動内容か連絡帳を通して伝えているがなかなか保護者まで行き届いていない)	・長期休暇やお出かけの際の様子をSNSやInstagramでの発信は行っているが日常の様子の発信が少ないかなと感じる。 (家庭まで療育内容が行き届いていない)	・日々の活動の様子も定期的に発信し、保護者への情報共有を充実させる。(家庭・事業所で連携して支援できるようにする) ・今後、保護者との連絡が取りやすいようにするためのソフト導入を検討中。